

水車が  
どんどん  
増える



水車が増えるのは  
西野が豊かに  
なつてゆく  
証拠なのね

それは  
まちがい  
ないよ

水車のある  
風景はのどかで  
いいなア:



でも昭和16年に  
日本が太平洋戦争に  
突入すると

戦争に  
人や物や食料を  
もつていかれ  
日本人はガマンした  
生活をしなくては  
ならなくなる

ところで昭和17年  
右股と言われた地域で  
「平和」と呼ぶことになつた

この地域の  
人々が平和な  
ふるさとで  
あつてほしい  
という

願いがこめられて  
いるんだ

ちなみに  
西野や福井は  
移住した頃から  
の地名だよ

昭和18年には  
すでに昭和の  
地名が使われて  
いたんだ

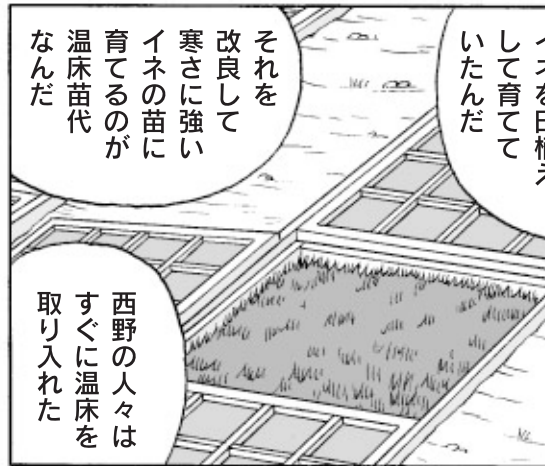


あれはみんな  
で協力して  
田植えをして  
いるところさ

田植え?



水田に  
たくさんの  
人が出て  
いるけど



本州などでは  
苗代で育てた  
イネを田植え  
して育てて  
いたんだ

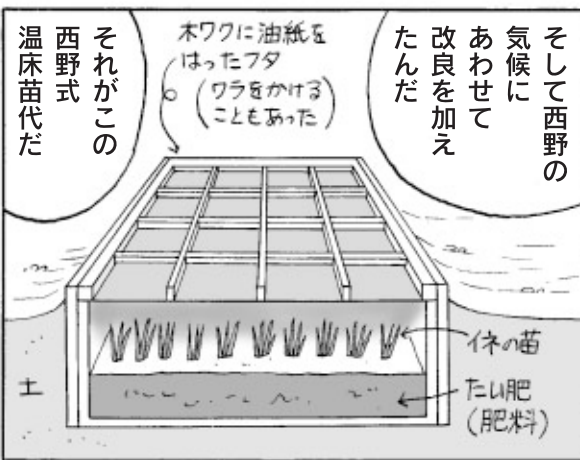
それを  
改良して  
寒さに強い  
イネの苗に  
育てるのが  
温床苗代  
なんだ

西野の人々は  
すぐに温床を  
取り入れた



タコ足のように  
水田に直接  
稲の種をまく  
方法だと寒さに  
弱いという欠点  
があつたんだ

昭和になつて  
上川地方で  
温床苗床が  
開発された



そして西野の  
気候に  
あわせて  
改良を加え  
たんだ

木ワクに油紙を  
はったフタ  
(ワラをかける  
こともあつた)

それがこの  
西野式  
温床苗代だ

体の苗  
たい肥  
(肥料)



温床苗代に  
してから  
西野では  
米がとれない  
年は  
ほとんど  
なくなつた  
んだ



温かくして  
育てるから  
温床苗代  
なんだ

北海道の  
農民は寒さ  
に負けない  
工夫を  
いっぱい  
してた  
のね